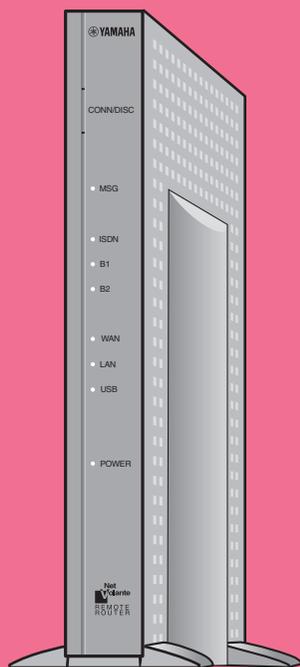


RTA 55i

ブロードバンド&ISDNルータ/TA



困ったときは

本機をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。本書はなくさないように、大切に保管してください。

付属マニュアルのご案内

本機の機能を十分に活用していただくために、下記のマニュアルを用意致しました。目的にあわせてマニュアルをお選びください。



設定マニュアル

本機を使い始めるときに読むマニュアルです。

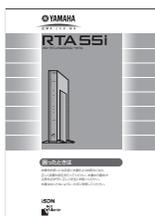
設置のしかたや設定のしかただけでなく、CATV/ADSLなどのブロードバンドルータとしての基本的な使いかたについて説明しています。



活用マニュアル

本機の機能を活用するために読むマニュアルです。

電話、FAX、ISDNルータ、ターミナルアダプタ(TA)としての代表的な使いかたについて、その解説と設定方法を説明しています。



困ったときは(本書)

本機のトラブル発生時の対策や、サポート窓口のご案内について、まとめて説明しています。



コマンドリファレンス(PDF形式)

コマンドを使って高度な設定を行いたいときに読むマニュアルです。本機のコソールコマンドについて解説しています。

 マークのマニュアルは付属のCD-ROMにPDF形式で収録しており、お読みにするにはAcrobat Readerが必要です。先にCD-ROMのAcrobat Readerをインストールしてください。詳しくは活用マニュアル(別冊)の「Acrobat Readerで説明書を読む」(188ページ)をご覧ください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

問題を特定しましょう

現在起こっている問題は何ですか？

考えられる問題点は以下の項目に分類できます。あてはまる問題を選んで、次ページからの解決方法を試してみてください。

Q1 電話などが使えなくなった
「電話／FAX／モデムが使えない」をご覧ください。

Q2 設定がうまくいかない
「かんたん設定ページで設定できない」をご覧ください。

Q3 インターネットにつながらない
「インターネットに接続できない」または
Q4 「TA接続／ブロードバンドTA接続でインターネットに接続できない」をご覧ください。

Q5 その他の機能が動作しない
最新機能へのバージョンアップ方法
やサポート窓口を確かめたい
「その他」をご覧ください。

Q1 電話/FAX/モデムが 使えない

- 本機の設定を変更してから電話/FAX/モデムが使えなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。
- ISDN回線を利用していない場合は、電話やFAX、モデムなどを本機に接続しても使用できません。

Check

1 POWERランプは点灯していますか?
▶ 消灯/点滅している場合は 8ページへ

OK

2 ISDNランプは点灯していますか?
▶ 点灯していない場合は 8ページへ

OK

3 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。

- ▶ 電話がかけられない 11ページへ
- ▶ 電話が着信しない 11ページへ
- ▶ FAXやモデムが使えない 12ページへ
- ▶ ダイヤルイン着信しない 12ページへ
- ▶ ナンバー・ディスプレイが使えない 12ページへ
- ▶ 擬似着信転送が使えない 13ページへ
- ▶ INSボイスワープが使えない 13ページへ
- ▶ INSキャッチホンが使えない 13ページへ

Q2 「かんたん設定ページ」で 設定できない

本機の設定を変更してから「かんたん設定ページ」設定できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

1 POWERランプは点灯していますか?
▶ 消灯/点滅している場合は 8ページへ

OK

2 LANランプは点灯していますか?
▶ 点灯していない場合は 9ページへ

OK

3 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。

- ▶ 「かんたん設定ページ」を表示できない 14ページへ
- ▶ 「かんたん設定ページ」のパスワードが通らない 15ページへ
- ▶ 設定内容が元にもどってしまう 16ページへ
- ▶ かんたん設定ページを開く際に、Webブラウザに
パスワードを保存できない 16ページへ

Q3 インターネットに 接続できない

- USB端子経由で接続できない場合は、「TA接続／ブロードバンドTA接続でインターネットに接続できない」をご覧ください。
- 本機の設定を変更してからインターネットに接続できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか？
▶ 消灯／点滅している場合は 8ページへ
OK
- 2 LANランプは点灯していますか？
▶ 点灯していない場合は 9ページへ
OK
- 3 ISDNランプ (ISDN回線接続時)、またはWANランプ
(CATV／ADSL接続時) は点灯していますか？
▶ 点灯していない場合は 8ページ または 10ページへ
OK
- 4 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。
▶ プロバイダに電話をかけ始めない 17ページへ
▶ プロバイダに電話がつかまらない 17ページへ
▶ フレッツ・ISDNで接続できない 18ページへ
▶ フレッツ・ADSLで接続できない 18ページへ
▶ ホームページが表示されない／表示が遅い 18ページへ
▶ 128kbit/s (MP接続) で接続できない 19ページへ

次のページにつづく→

Q1

Q2

Q3

Q4

Q5

Q4 TA接続／ブロードバンド TA接続でインターネット に接続できない

本機の設定を変更してからインターネットに接続できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか？
▶ 消灯／点滅している場合は 8ページへ
OK
- 2 USBランプは点灯していますか？
▶ 消灯／点滅している場合は 20ページへ
OK
- 3 ISDNランプ (TA接続時)、またはWANランプ
(ブロードバンドTA接続時)は点灯していますか？
▶ 点灯していない場合は 8ページ または 10ページへ
OK
- 4 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。
▶ 電話をかけるとエラー(青い画面など)になる 21ページへ
▶ プロバイダに電話をかけ始めない 22ページへ
▶ プロバイダに電話がつかない 22ページへ
▶ ホームページが表示されない／動作が不安定 23ページへ
▶ 128kbit/s (MP接続)で接続できない 24ページへ
▶ ブロードバンドTA接続すると、エラー(BUSY)になる 25ページへ
▶ ブロードバンドTA接続時に、同時に別々のプロバイダに
接続できない 25ページへ

Q5 その他の問題 サポート窓口のご案内

▶ルータやPCで、NTPサーバを使った 時刻合わせができない	26ページへ
▶インターネット電話が使えない	26ページへ
▶通信料金に異常がある	28ページへ
▶接続操作をしていないのに、インターネットに 接続してしまう	29ページへ
▶パスワードを忘れてしまった	33ページへ
▶本機の設定を工場出荷状態に戻したい	33ページへ
本機の最新機能を利用する(リビジョンアップ)	34ページへ
最新情報の入手先は?	35ページへ
サポート窓口のご案内	36ページへ
本機の保証サービスについて	37ページへ

Q1

Q2

Q3

Q4

Q5

ランプの状態を確かめましょう

症状▶	原因▶	対策
ランプがひとつも点灯しない、またはPOWERランプが点滅している	本機の電源が入っていない	STANDBY-ON(電源)スイッチを「ON」にする。
	電源コネクタに、付属のACアダプタが接続されていない	本機のDC-IN 9Vコネクタに、付属のACアダプタ(P9V1.1A)のコネクタを正しく接続する。
	付属のACアダプタがコンセントに接続されていない	コンセントから外れているときは、正しく差し込み直す。
	付属のACアダプタを使っていない	本機に付属のACアダプタ(P9V1.1A)を使用する。
	主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている	<ul style="list-style-type: none">• バックアップ用の乾電池を入れる。入っている場合は、新品の乾電池と交換する。• 停電中は、復旧するまでお待ちください。
	停電している	<ul style="list-style-type: none">• ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする。• ブレーカーが「入」になっている場合は、1度「切」にしてから「入」にし直す。
	コンセントに電気が来ていない(他の電気製品も使えない)	<ul style="list-style-type: none">• 他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼してください。• 他の製品が動くときは、本機の修理を依頼してください。
ISDNランプが点灯しない	ISDN回線に接続していない	<ul style="list-style-type: none">• 本機をアナログ回線のモジュージャックではなく、ISDN回線のモジュージャックに接続する。• CATV/ADSL回線や専用線で本機をインターネットに接続している場合は、本機に電話機を接続しても、電話機は使えない。

症状▶	原因▶	対策
ISDNランプが点灯しない (つづき)	ISDN回線の契約内容と接続方法が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> • ISDN Uポートに接続している場合は、本機の電源を切り、DSUスイッチを「ON」、RVS/NOR(極性反転)スイッチを「RVS」にしてから、電源を入れ直す。 • ISDN S/Tポートに接続している場合は、本機の電源を切り、DSUスイッチを「OFF」、TERM(ターミネータ)スイッチを「1」にしてから、電源を入れ直す。他のISDN機器のターミネータを有効にする場合は、TERMスイッチを「0」にする。 • DSUや、内蔵DSUを使用しているISDN機器の電源が入っているかを確認する。
	ISDN回線の工事が終わっていない	<ul style="list-style-type: none"> • 工事が終わっていない場合は使えません。NTTのISDN切り替え工事が終わった後に、本機を接続してください。それまでは、電話機を接続しておいてください。 • 電話局側の回線が開通しているか確認してください。
	本機が誤動作している	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の設定を工場出荷状態に戻したあとに(33ページ)、ルータの設定をはじめからやり直す。 • それでもISDNランプが点灯しない場合は、本機の修理を依頼してください。
LANランプが点灯しない	HUBやパソコンの電源が入っていない	本機および本機に接続した機器の電源が入っていることを確認する。LANポートに機器を正しく接続しても、接続した機器の電源が入っていないときは、本機のLANランプは点灯しない。
	正しく接続されていない	本機側、パソコンおよびHUB側共にコネクタをいったん外してから、もう1度カチッとロックするまで差し込む。
	LAN用のケーブルを使っていない	<ul style="list-style-type: none"> • ISDNケーブルを使用していないかどうか確認する(コネクタ形状が全く同じなので注意が必要)。 • 他のLANケーブルと取り替えてみる。

ランプの状態を確かめましょう

症状▶	原因▶	対策▶
WANランプが点灯しない	ADSLモデムやケーブルモデムの電源が入っていない	電源を入れる。
	ADSLモデムやケーブルモデムの電源が正しく接続されていない	本機のWANポートおよびADSLモデムやケーブルモデムの配線をいったん外してから、もう1度カチッと音がするまで差し込む。
	正しいケーブルを使用していない	ADSLモデムやケーブルモデムとパソコンを接続するものと、同じタイプのケーブルで接続する。
	ユーザー名やパスワードの設定が間違っている(PPPoE方式)	設定したユーザー名やパスワードの設定を確認する。

Q1 電話が使えない

症状▶	原因▶	対策
電話がかけられない	アナログ機器の電源が入っていない	アナログ機器(電話機やFAX、モデムなど)の電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。
	アナログ機器が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	アナログポートに実際に接続した機器と設定ページのアナログポート設定内容が合っていない	<ul style="list-style-type: none">TELポートごとに設定した通りに、アナログ機器を接続し直す。「かんたん設定ページ」を開き、電話設定の内容を確認する。
	同時に2つの機器を使用している	インターネット接続と電話機を同時に使用している場合は、ISDNの2チャンネル共使用中になるため、それ以上電話をかけられない。アナログ機器は2つ接続できるが、同時に使えるのは、ルータやTAの接続も含めて2台まで。
	疑似着信転送または疑似通信中転送で2チャンネル分を使っている	受話器を上げて「ブツブツブツ」という音が聞こえるときは、フッキングして強制切断する。
	αACRやsuperACRなどのACR(自動電話会社接続機能)を利用している	ダイヤルの桁間隔時間を9秒以上に設定する(活用 23ページ)。
電話が着信しない	アナログ機器の電源が入っていない	アナログ機器(電話機やFAX、モデムなど)の電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。
	アナログ機器が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	何も接続していないTELポートがある	<ul style="list-style-type: none">機器を接続していないTELポートは、電話機能設定の「アナログポート使用制限の設定(機能番号14)」を「使用しない」に設定する(活用 23ページ)。「かんたん設定ページ」を開き、「電話設定」-「基本設定」画面の「使用制限」を確認する。

症状▶	原因▶	対策
電話が着信しない (つづき)	同時に2つの機器を使用している	インターネット接続と電話機を同時に使用している場合は、ISDNの2チャンネル共使用中になるため、それ以上電話を受けられない。アナログ機器は2つ接続できるが、同時に使えるのは、ルータやTAの接続も含めて2台まで。
	同じ回線に他のISDN機器が接続されている	他のISDN機器が応答していないか確認する。
	使用している電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない	<ul style="list-style-type: none"> • 電話機がナンバー・ディスプレイ非対応の場合は、「かんたん設定ページ」の[ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続]を「使用しない」に設定する。 • 電話機がナンバー・ディスプレイ対応の場合は、「かんたん設定ページ」の[ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続]を「使用する」に設定する。 • 電話機がキャッチホン・ディスプレイ対応である場合は、「かんたん設定ページ」の[ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続]を「キャッチホン・ディスプレイを併用する」に設定する。
	着信転送が設定されている	着信転送を解除する(活用 46ページ)。着信転送が設定されていると、着信が転送されます。
FAXやモデムが使えない	通話音量が大きすぎる／小さすぎる	通話音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると、通信ができないことがある。「かんたん設定ページ」や電話機から音量レベル(PAD調整)値を変更する(活用 24ページ)。
	アースコードが接続されていない	アースコードが正しく接続されていないと、通信にノイズが入り、つながりにくくなることもある。必ず、アースコードで本機のアース端子とコンセントのアース(接地)端子を接続する。
ダイヤルイン着信しない	回線番号ごとに電話番号、ダイヤルインの設定が正しく行われていない	「電話設定」-「基本設定」画面で、正しく設定する(活用 54ページ)。
ナンバー・ディスプレイが使えない	ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっている	ナンバー・ディスプレイを使用するように設定する(活用 49ページ)。
	使用している電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない	上記「電話が着信しない」を参照して、正しく設定する。

症状▶	原因▶	対策
本機の疑似着信転送が 使えない	疑似着信転送を使えるように設定をして いない	疑似着信転送をするための設定を行う (活用 44ページ)。
	疑似着信転送するTELポートを誤って指 定している	TELポートごとに異なる転送先アドレス を設定する場合は、それぞれのポートを 指定して着信させるようにi・ナンバーや ダイヤルイン番号を設定する(活用 54 ページ)。
INSボイスワープが使え ない	INSボイスワープを契約していない	ご利用の電話会社へINSボイスワープを 申し込む(有料)。詳しくは、ご利用の電 話会社にお問い合わせください。
	INSボイスワープを使えるように設定を していない	電話局側のINSボイスワープの設定を開 始(使用する)にする。詳しくは、ご利用 の電話会社にお問い合わせください。
INSボイスワープの設定 を変更するために「142」を ダイヤルしても、設定が 変更できない	アナログ回線用のボイスワープと同じ操 作を行っている	ISDN回線用のボイスワープの操作は、ア ナログ回線用の操作と異なる。NTTの資 料を参照して、正しい操作を行う。
INSボイスワープで転送 開始/停止などをしよう としても、「あなたがおか けになった電話番号は、 現在ご利用いただけませ ん」とアナウンスが流れ て、設定できない	発信者番号を通知していない	ダイヤルイン、i・ナンバー、代表取扱 サービスなどを契約した回線でINSボイ スワープの設定を変更するには、INSボ イスワープを契約した電話番号を交換機 に通知する必要がある。 「電話設定」-「基本設定」画面で電話番 号を正しく入力して、回線番号を通知す るように設定する(活用 54ページ)。
	INSボイスワープを契約した電話番号と 異なる電話番号を、発信者番号として 通知している	<ul style="list-style-type: none"> 「電話設定」-「基本設定」画面で電話番 号を正しく入力して、回線番号を通知 するように設定する。 TELポートごとに異なる電話番号を割 り当てている場合は、INSボイスワープ を契約した電話番号を割り当てている TELポートに接続した電話機から、必 要な操作を行う。
INSキャッチホンが使え ない	INSキャッチホンを契約していない	ご利用の電話会社へINSキャッチホンを 申し込む(有料)。詳しくは、ご利用の電 話会社にお問い合わせください。
	話中の着信通知が「しない」に設定されて いる	「電話設定」-「着信機能」画面で、話中の 着信通知を「する」に設定する。
	INSキャッチホンが使用「しない」に設定 されている	「電話設定」-「基本設定」画面の「フレック スホンの共通設定」で、INSキャッチホン を使用「する」に設定する。

Q2 「かんたん設定ページ」で 設定できない

症状▶	原因▶	対策
「かんたん設定ページ」を表示できない	パソコンのネットワーク設定が不適切 (LAN上の他のパソコンやネットワークプリンタも使用できない)	<ul style="list-style-type: none">• LANボードやLANカードの設定をやり直して、パソコンを再起動する。• Windowsの場合は、IPアドレスをリセットする(活用 195ページ)。• Macintoshの場合は、「TCP/IP」コントロールパネルの[経由先]を[Ethernet]、[設定方法]を[DHCPサーバを参照]に設定してから、設定を保存する。
	通信速度が正しく認識されていない	100BASE-TX対応のLANカードを使用しているときは、LANカードを自動認識に設定する。通信が不安定な場合は、10Mbit/sの半二重に固定する。
	ルータのIPアドレスを変更した	<ul style="list-style-type: none">• 本機に設定したIPアドレス「http://(本機のIPアドレス)」にアクセスする。• 本機とLANに接続しているすべてのパソコンを再起動する。再起動または電源を切ることができないときは、パソコンを1台だけ本機に接続し、それ以外のLANケーブルを取り外してから、本機とパソコンの電源を入れる。• パソコンの設定が同じIPアドレス範囲になっているか、他の機器とIPアドレスが重なっていないか確認する。
	ルータのURLが不適切である	本機を初めて使うときや工場出荷値に戻した後は、「http://192.168.0.1/」または「http://setup.netvolante.jp/」にアクセスする。
	パソコンのWebブラウザの接続経路設定が、LAN経由になっていない	Windows版Internet Explorer5の場合、[インターネットオプション]の[接続]タブでダイヤルアップ接続をする設定になっていると、「かんたん設定ページ」にアクセスできないので、[ダイヤルしない]に変更する。

症状▶	原因▶	対策
「かんたん設定ページ」を表示できない(つづき)	パソコンのWebブラウザでProxy(プロキシ)サーバを使用している	<p>プロキシの設定が正しくないと、「かんたん設定ページ」が表示できなくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorerの場合： メニューから[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]タブ→[LANの設定]を開き、[プロキシサーバを使用する]のチェックをはずす。 • Netscape Navigatorの場合： メニューから[編集]→[設定]→カテゴリの[詳細]の[+]をクリック→[プロキシ]を選び[プロキシ]の設定を開き、[インターネットに直接接続する]にチェックを付ける。
	パソコンをWebブラウザ経由で遠隔操作している	IPアドレスによるアクセス制限機能が働いていると、許可されていないホストからのアクセスに対しては、「Error 503 This server is available to members only. I'm sorry, your host is not member.」と表示される。
	「かんたん設定ページ」を一度も開いていない	「本機の設定を工場出荷状態に戻す」(33ページ)を行ったあと、もう一度、パスワードの設定からやり直す。パスワードは大文字と小文字が区別されるので、設定したパスワードを間違えないように半角の英数字で入力する。
「かんたん設定ページ」のパスワードが通らない	パスワードが設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の設定を行ったルータ管理者にご相談ください。 • 設定したパスワードを忘れてしまったときは、「パスワードを忘れてしまった」(33ページ)をご覧ください。
	パスワードが間違っている(パスワードエラーが表示される)	<ul style="list-style-type: none"> • パスワードは、全角/半角や大文字/小文字の違いも区別される。必ず半角の英数字で大文字/小文字まで正確に入力する。 • Webブラウザに認証情報(ユーザ名、パスワード)が残っていると、それを自動的に送信するため、エラーになる場合がある。ユーザ名を削除してからパスワードを入力し直すか、ブラウザをいったん終了してから「かんたん設定ページ」を開き直す。

Q2 「かんたん設定ページ」で設定できない

症状▶	原因▶	対策
設定内容が元にもどってしまう	プロバイダの設定を行ったときに[登録]をクリックしていない	「かんたん設定ページ」で設定を変更したときは、必ず[登録]をクリックして設定を保存する。[登録]をクリックせずに画面を閉じると、設定内容は保存されない。
かんたん設定ページを開く際に、Webブラウザにパスワードを保存できない	「ネットワークパスワードの入力」画面で、ユーザ名を空欄にしている	Webブラウザによっては、パスワードを保存するためにユーザ名の入力が必要な場合がある。この場合は、任意の文字列を入力する。

Q3 インターネットに接続できない

症状▶	原因▶	対策
プロバイダに電話をかけ始めない	ルータに接続できない(パソコンから「かんたん設定ページ」を開けない)	<ul style="list-style-type: none">• パソコンを再起動する。• Windowsの場合は、IPアドレスをリセットしてから、もう1度接続してみる(活用) 195ページ)。
	自動接続先のプロバイダ情報が登録されていない	<ul style="list-style-type: none">• 「かんたん設定ページ」で接続するプロバイダの情報を設定する。• 「かんたん設定ページ」で自動接続設定を「入」にしてから、接続するプロバイダを選ぶ。
	同時に2つの機器を使用している(ISDN回線接続時のみ)	アナログ機器で2チャンネル分を使っている場合は、インターネットへ接続できない。アナログ機器の回線使用状態を確認する。
	累積料金が接続制限値を超えている	プロバイダ累積料金や累積接続時間、累積発信回数が接続制限値に達していると、プロバイダに接続できなくなる。意図しない接続や異常課金がないことを確認してから、「かんたん設定ページ」でプロバイダの累積料金をリセットすると、接続できるようになる(活用) 140ページ)。
プロバイダに電話が繋がらない	プロバイダの電話番号が間違っている(「かんたん設定ページ」の「プロバイダ接続管理」画面の「最後の通信」欄に、「接続できません。電話番号を確認してください」と表示される)	番号違いやアナログ専用アクセスポイントの電話番号の場合は、接続できない。プロバイダの接続情報書類を確認し、「プロバイダ接続管理」画面で[登録の修正]をクリックして、正しいプロバイダの通信速度とISDN対応電話番号を入力し直す。
	ユーザーIDまたはパスワードが間違っている(「かんたん設定ページ」の「プロバイダ接続管理」画面の「最後の通信」欄に、「IDまたはパスワードの認証に失敗しました」と表示される)	<ul style="list-style-type: none">• プロバイダの接続情報書類を確認し、「プロバイダ接続管理」画面で[登録の修正]をクリックして、正しいユーザーIDとパスワードを入力し直す。• Windowsで専用線接続の場合は、ゲートウェイ情報にルータのアドレスが設定されているか確認する。• Macintoshの場合は、TCP/IPの経由先が正しく設定されているか確認する。• プロバイダの認証サーバが混雑していると、接続に失敗することがある。しばらく時間を置いてから、アクセスし直す。

Q2

Q3

Q3 インターネットに接続できない

症状▶	原因▶	対策
プロバイダに電話が つながらない(つづき)	アクセスポイントが混雑している(「かんたん設定ページ」の「プロバイダ接続管理」画面の「最後の通信」欄に、「相手が話中です」と表示される)	<ul style="list-style-type: none"> • プロバイダのアクセスポイントが混雑している。しばらく時間をおいてから、かけ直す。 • プロバイダのアクセスポイントのISDN対応電話番号を、もう1度確認する。 • 他のアクセスポイントがある場合は、別の番号を設定してみる。
フレッツ・ISDNで 接続できない	フレッツ・ISDN契約していない	• フレッツ・ISDN契約しているかどうかを確認する。
	電話番号が間違っている	• NTTから指定された、フレッツ・ISDN専用の電話番号を指定する。
	本機にISDN番号を登録していない	• フレッツ・ISDN契約した電話番号を本機に登録しないと、接続できない。設定マニュアルの185ページからの操作をやり直して、正しく設定する。
フレッツ・ADSLで 接続できない	ユーザーIDまたはパスワードが間違っている	プロバイダから指定されたユーザーIDに加えて、プロバイダ名まで指定する必要がある(例: username@xxx.ne.jp)。フレッツ・ADSLとプロバイダの設定資料を参照して、正しく入力する。
ホームページが表示され ない／表示が遅い	プロバイダ設定のDNSサーバアドレスが間違っている	<ul style="list-style-type: none"> • ルータとして使用している場合は、プロバイダ接続設定にDNSサーバアドレスが設定されているか確認する。 • 本機をルータとして使用している場合は、各パソコンのDNSサーバアドレス設定に本機のIPアドレスを入力してから、パソコンを再起動する。 • WebサーバやDNSサーバが混雑または停止している可能性がある。しばらく時間をおいてから、アクセスし直す。
	本機のフィルタが動作している	<p>プロバイダから与えられたIPアドレスがプライベートアドレスで、ファイアウォールなどのセキュリティフィルタを適用している場合は、以下の方法でIngressフィルタの適用をはずす。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 変更例1：[プロバイダ接続管理]－[登録の修正]画面で、Ingressフィルタを含まないセキュリティレベルに設定する。 • 変更例2：ファイアウォール機能の設定で、静的フィルタの 0、1、2、10、11、12の適用をはずす。

症状▶	原因▶	対策
ホームページが表示されない／表示が遅い(つづき)	<p>プロバイダから与えられたIPアドレスとルータに設定されているIPアドレスが重複している</p> <hr/> <p>回線の種類に問題がある(PPPoE方式ADSL接続時のみ)</p> <hr/> <p>回線やプロバイダ、Webサーバが混雑している</p>	<p>「LAN/WAN設定」画面で、ルータのIPアドレスをプロバイダから与えられたものと重複しないアドレスに変更する。この場合、本機のファイアウォール機能は再適用する必要がある。</p> <hr/> <p>ADSL回線の種類によっては、標準的な設定のままでは、一部のホームページのデータが受信できないか、データの受信が非常に遅くなることもある。いったん接続を切断してから、「プロバイダ接続管理」画面のPPPoE方式のプロバイダの[登録の修正]でMTUに1454などの値を設定して、接続し直す。</p> <hr/> <p>時間帯などによっては、非常に遅くなる場合がある。回線速度に比べて非常に遅い状態が続く場合は、ご利用の回線業者やプロバイダにお問い合わせください。</p>
128kbit/s(MP接続)で接続できない	<p>プロバイダとMP接続の契約をしていない</p> <hr/> <p>MP対応の電話番号以外にダイヤルしている</p> <hr/> <p>端末型プロバイダ接続の設定で、MPを使用する設定になっていない</p> <hr/> <p>「MP関連」の設定で「通信の負荷に応じてチャンネル数を増減させる」を選んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> MP接続するには、プロバイダが対応している必要がある。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 プロバイダにより、別途MP接続契約が必要な場合がある。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 <p>ご注意</p> <p>MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。2チャンネル目が発信とエラーを繰り返し、多額の料金を請求される場合があります。</p> <hr/> <p>MP接続対応の電話番号(アクセスポイント)にかけないと、接続できない。プロバイダの接続情報書類を確認し、MP接続対応の電話番号に設定し直す。</p> <hr/> <p>「かんたん設定ページ」の「プロバイダ接続管理」画面でプロバイダの[登録の修正]をクリックして、「MP接続」画面で「MPを使用する」を選ぶ(活用 142ページ)。</p> <hr/> <p>「通信の負荷に応じてチャンネル数を増減させる」を選んでいる場合、通常は1チャンネルのみ接続される。データ通信量が多くなると、自動的に2チャンネル接続される(活用 142ページ)。</p>

Q4 TA接続／ブロードバンドTA接続 できない

症状▶	原因▶	対策
USBランプが点灯しない	本機やパソコン、途中のUSBハブの電源が入っていない	USBランプは、本機とパソコンが正常に接続されている時のみ点灯／点滅する。いずれかの機器の電源が入っていないと、点灯しない。
	USBコネクタがしっかり接続されていない	不完全な場合はいったん外してから、もう1度コネクタの向きや形状を確認し、本機側、パソコン側ともに奥までしっかりと接続する。
	USBケーブルやUSBハブに異常がある	別のUSB機器を接続して動作しない場合は、USBケーブルやUSBハブに断線や不具合がある可能性がある。他のUSBケーブルやUSBハブと交換する。
	本機のUSBポートが無効になっている	本機のUSBポートは、コンソールコマンドで有効/無効を設定できる。LAN接続したパソコンのTELNETソフトウェアで以下のコンソールコマンドを実行し、本機のUSBポートを有効にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"><pre>usb use on save</pre></div>
USBランプが点滅する	通信中である	通信中はUSBランプが不規則に点滅する。正常な動作で、問題はありません。
	パソコンが起動中である	<ul style="list-style-type: none">● パソコンの起動中や終了中は、USBランプがゆっくりと点滅し、起動すると点灯に変わる。● パソコンがサスペンド状態やスリープ状態になっている時は、ゆっくりと点滅する場合がある。
	本機が対応しているOSを使っていない	USB経由で本機とパソコンを接続して使うには、Windows 98SE/Me/2000/XP、MacOS 9/Mac OSXの環境が必要。Windows 95/98、MacOS 8.6以前の場合は、パソコンのOSをバージョンアップする。
	USBドライバをインストールしていない(Windowsの場合)	USBドライバが正常にインストールできなかった場合や操作を間違った場合は、「USB互換デバイス」と誤認識され、USBランプがゆっくり点滅する。付属のUSBアンインストーラを実行してからパソコンを再起動して、USBドライバをもう1度インストールする(活用 70ページ)。

症状▶	原因▶	対策
USBランプが点滅する (つづき)	USBドライバのインストールを途中でキャンセルした(Windowsの場合)	USBドライバのインストールを途中でキャンセルした場合は、[不明なデバイス]と認識され、USBランプがゆっくり点滅する。[コントロールパネル]－[システム]の[デバイスマネージャ]画面で、黄色い❗マークの付いた「不明なデバイス」を削除してからパソコンを再起動して、USBドライバをもう1度インストールする(活用 70ページ)。
	パソコンのUSBポートが無効になっている(Windowsの場合)	USBポートが無効になっていると、USBランプがゆっくり点滅する。[コントロールパネル]－[システム]の[デバイスマネージャ]画面で[ユニバーサル シリアルバス コントローラ]を開き、[～Controller]や[USBルートハブ]に赤い✖マークや黄色い❗マークが付いていないことを確認する。 付いている場合は、パソコンまたはUSBインタフェースボードの取扱説明書に従って問題を解決してから、USBドライバをもう1度インストールする。
電話をかけるとエラー (青い画面など)になる	USBケーブルを抜き差しした	パソコンを再起動する。 ターミナルソフトやダイヤルアップネットワークソフト、ダイヤルアップサーバを使用中にUSBケーブルを抜き差しすると、Windowsが不安定になってエラーが発生する可能性がある。
	本機の電源を入/切した	パソコンを再起動する。 ターミナルソフトやダイヤルアップネットワークソフト、ダイヤルアップサーバを使用中に本機の電源を入/切すると、Windowsが不安定になってエラーが発生する可能性がある。
	本機をリセットした	パソコンを再起動する。 ターミナルソフトやダイヤルアップネットワークソフト、ダイヤルアップサーバを使用中に本機をリセットすると、Windowsが不安定になってエラーが発生する可能性がある。

症状▶	原因▶	対策
プロバイダに電話をかけ始めない	ネットワーク設定が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> • Windowsの場合は、コントロールパネルの「ネットワーク」設定が合っているか確認する。 • Macintoshの場合は、TCP/IPの経由先が正しく設定されているか確認する。
	ダイヤルアップ設定でプロバイダ情報を登録していない	<ul style="list-style-type: none"> • Windowsの場合は、ダイヤルアップネットワークアイコンの設定が正しく保存されているか確認する。 • Macintoshの場合は、リモートアクセス(またはPPP)の設定が正しく保存されているか確認する。 • DNSサーバ情報に余計な情報が設定されていないか確認する。
	同時に2つの機器を使用している(TA接続時のみ)	アナログ機器で2チャンネル分を使っている場合は、インターネットへ接続できない。アナログ機器の回線使用状態を確認する。
プロバイダに電話が繋がらない	通信速度や電話番号の設定が正しくない(ダイヤルアップダイアログに「プロトコルエラー」が表示される)	<ul style="list-style-type: none"> • Windowsの場合は、ダイヤルアップネットワークアイコンの設定で、プロバイダの通信速度とISDN対応電話番号をもう1度確認する。番号違いやアナログ専用アクセスポイントの電話番号の場合は接続できない。 • Macintoshの場合は、リモートアクセス(またはPPP)の設定で、プロバイダの通信速度とISDN対応電話番号をもう1度確認する。番号違いやアナログ専用アクセスポイントの電話番号の場合は接続できない。 • モデム設定のポート通信速度を低くして、アクセスできるか確認する。

症状▶	原因▶	対策
<p>プロバイダに電話がつながらない(つづき)</p>	<p>ユーザーIDやパスワードの設定が正しくない(ダイヤルアップダイアログに「ニンショウエラー」が表示される)</p> <hr/> <p>アクセスポイントが混雑している(ダイヤルアップダイアログに「ビジー」や「相手が応答しない」が表示される)</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windowsの場合は、ダイヤルアップネットワークアイコンの設定で、ユーザーIDとパスワードをもう1度確認する。プロバイダによっては、メールアドレスのユーザーIDやパスワードとは違う場合がある。 Macintoshの場合は、リモートアクセス(またはPPP)の設定で、ユーザーIDとパスワードをもう1度確認する。プロバイダによっては、メールアドレスのユーザーIDやパスワードとは違う場合がある。 プロバイダの認証サーバが混雑している可能性がある。しばらく時間を置いてから、アクセスし直す。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> プロバイダのアクセスポイントが混雑しているので、しばらく時間を置いてから、かけ直す。 ISDN対応電話番号をもう1度確認する。 他のアクセスポイントがある場合は、別の番号を設定してみる。
<p>ホームページが表示されない/動作が不安定</p>	<p>ダイヤルアップ設定のDNS(ネームサーバ)のIPアドレスが正しくない</p> <hr/> <p>USBオーディオ機器やTA、LANアダプタなど、高い負荷がかかるUSB機器を同時に使用している</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windowsの場合は、ダイヤルアップネットワークの設定で、DNSサーバのIPアドレスをもう1度確認する。DNSサーバのIPアドレスは、プロバイダから指定されたものを設定する。 Windowsの場合は、modemlog.txtを開き、原因を確認する。 Macintoshの場合は、TCP/IPの設定で、DNSサーバのIPアドレスをもう1度確認する。DNSサーバのIPアドレスはプロバイダから指定されたものを設定する。 WebサーバやDNSサーバが混雑しているか、または停止している可能性がある。しばらく時間を置いてから、アクセスし直してみる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 高い負荷がかかると、通信が不安定になる場合があるので、本機とは同時に使用しない。 パソコンにUSBのルートが2系統ある場合は、これらのUSB機器を別のUSBポートに接続し直す。

症状▶	原因▶	対策
<p>128kbit/s(MP接続)で接続できない (TA接続時のみ)</p>	<p>ドライバをMP接続用にインストールしていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MP接続するには、モデムインストール時に「RTA55i USB (MP)」でインストールする。 ● モデムインストール時に「RTA55i USB (Sync)」でインストールした場合は、以下の手順でドライバを更新する。 <p>Windowsの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [コントロールパネル]－[システム]－[デバイスマネージャ]－[モデム]で [RTA55i USB (Sync)] を開き、[ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックする。 2 ドライバの更新ウィザード画面で[特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する]を選んでから、[次へ]をクリックする。 3 付属CD-ROMをセットして、RTA55i用のUSB INFファイルの入ったフォルダを指定する。 4 [ほかのドライバをインストールする]を選んでから、[一覧の表示]をクリックする。 5 [RTA55i USB (MP)]を選んでから、[OK]をクリックする。 6 画面のメッセージに従って[次へ]を数回クリックしてから、[完了]をクリックする。 7 設定を有効にするために、パソコンを再起動する。 この変更により変更前とは異なるCOMポート番号に割り当てられますので、ターミナルソフトやダイヤルアップネットワークの設定を再度行う必要があります。 <p>MacOS9の場合</p> <p>アップルメニューから[コントロールパネル]－[モデム]を開き、[モデム]の種類を[NetVolante MP]に設定する。</p>
	<p>MP設定に切り替えていない</p>	<p>MP接続するには、AT@Gコマンド (活用 203ページ)で認証ユーザIDとパスワードを設定し、AT&Wコマンド (活用 201ページ)で設定を保存する。</p>

症状▶	原因▶	対策
128kbit/s(MP接続)で接続できない(つづき)	MP対応の電話番号を指定していない プロバイダとMP接続の契約をしていない	MP接続対応の電話番号(アクセスポイント)にかけないと、接続できない。プロバイダの接続情報書類を確認して、MP接続対応の電話番号に設定し直す。 <ul style="list-style-type: none"> MP接続するには、プロバイダが対応している必要がある。詳しくは、ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 プロバイダにより、別途MP接続契約が必要な場合がある。詳しくは、ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 <p>ご注意</p> MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。2チャンネル目が発信とエラーを繰り返し、多額の料金を請求される場合があります。
ブロードバンドTA接続すると、エラー(BUSY)になる	「broadband-ta forced disconnect off」に設定されている	「broadband-ta forced disconnect off」に設定されていると、ルータのADSL接続が優先される(工場出荷状態では「broadband-ta forced disconnect on」に設定されている)。ブロードバンドTA接続を優先させるには、「かんたん設定ページ」-「システム管理」-「コマンド設定」画面で、以下のコマンドを実行する。 broadband-ta forced disconnect on
ブロードバンドTA接続時に、同時に別々のプロバイダに接続できない	契約しているADSL事業者(PPPoE方式のみ)が、複数の接続(セッション)をサポートしていない	ADSL事業者が複数の接続(セッション)をサポートしていない場合は、ルータとブロードバンドTA接続で、同時に別々のプロバイダに接続できない。ADSL事業者が複数の同時接続をサポートしている場合には、ATコマンドで最大セッション数とコンセントレータ名(半角英数字)を指定する。 例：2つの同時接続の場合 ATS56=2 AT@I/コンセントレータ名/ AT&W(保存)

Q5 その他の問題

症状▶	原因▶	対策
ルータやパソコンで、NTPサーバを使った時刻合せができない	NTPサーバのIPアドレスやドメイン名が間違っている	<ul style="list-style-type: none">• 入手したNTPサーバ情報と比較し、正しく設定されていることを確認する。• NTPサーバに対してpingを実行し、NTPサーバが稼動していることを確認する。
	登録されているNTPサーバへの経路が設定されていない	プロバイダ設定や経路設定を確認する。
	本機のセキュリティフィルタが動作している	「付加機能」-「ファイアウォール」画面の「表示インタフェース」欄でプロバイダへの接続を選んでから「表示の変更(再表示)」をクリックする。 「静的フィルタの一覧」の下部にNTPポートを通す(Pass)フィルタが表示される(NTP server、NTP client)ので、[入][出]の両方にチェックを付ける。
インターネット電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう	インターネット電話が利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none">• かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、「インターネット電話機能を使用する」に設定する。• かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、対応するアナログポートを「インターネット電話を使用する」に設定する。
	インターネット電話に対応する識別番号(プレフィックス)をダイヤルしていない	<ul style="list-style-type: none">• 設定したプレフィックスをダイヤルしてから、インターネット電話番号をダイヤルする。• かんたん設定ページの「電話設定」-「発信時の回線選択」で、プレフィックスの番号を都合の良い番号に変更する。
	ネットボランチ電話番号の場合、ダイヤルした番号が間違っている	相手の正しいネットボランチ電話番号をダイヤルする。
	ネットボランチ電話番号の場合、相手がネットワークに繋がっていない	相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。
	電話番号がインターネット電話帳に登録されていない	<ul style="list-style-type: none">• 登録されている電話番号をダイヤルする。• 新たに電話番号を登録する。
	インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている	インターネット電話帳に正しいアドレスで登録し直す。
	相手が着信を拒否している	インターネット電話帳に登録されている内容のユーザ名の設定が正しいか確認し、修正する。

症状▶	原因▶	対策
インターネット電話番号をダイヤルしても、無音になる(30秒ほど経過すると、話中音となる)	インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている	正しいアドレスで登録し直す。
	相手がネットワークに接続していない	相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。
インターネット電話が着信しない	インターネット電話が利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none"> • かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、「インターネット電話機能を使用する」に設定する。 • かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、対応するアナログポートを「インターネット電話を使用する」に設定する。
	インターネット電話着信時の宛先ユーザ名が、着信できないユーザ名になっている	<ul style="list-style-type: none"> • かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、対応するアナログポートを「着信はすべて受け付ける」に設定する。 • 通信相手に自分が設定しているユーザ名を知らせ、そのユーザ名宛に発信してもらうようにする。
インターネット電話で雑音が多い	他に帯域を大幅に使用する通信(ストリーミング配信など)を行っている	<ul style="list-style-type: none"> • 通信を終了してから、インターネット電話をかける。 • 他の通信で使用する帯域がアプリケーションで設定可能であれば、使用する帯域を少なくする。
	相手との間に帯域の狭い経路が存在する	<ul style="list-style-type: none"> • 複数のサービスと契約している場合は、サービスを変えてみる。 • 時間帯を変えて、通話をためず。

Q5 通信料金に異常がある

料金情報や通信記録を見て使った覚えのない通話料金があった場合は

自動接続機能でインターネットへ接続している場合は、パソコンのソフトウェアや機器が自動的にインターネットへ接続している疑いがあります。また、ソフトウェアによっては、パソコンを起動しているだけで自動的に動作するものがあり、知らないうちに自動発信を繰り返している場合があります。放置すると、多額の通話料金になる場合がありますので、こまめに料金や通話記録を確認してください。

次のような場合は、特にご注意ください

- 本機を使い始めた時
- 本機のプロバイダ接続設定を変更した時
- パソコンのダイヤルアップネットワーク設定を変更した時
- MP接続を設定した時
- TA接続を併用または切り替えた時
- Real Playerをインストールした時
- パソコンに新しいソフトウェアをインストールした時
- ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続した時
- 本機のファームウェアをリビジョンアップした時
- その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じた時など

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使っていると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。2チャンネル目が発信とエラーを繰り返して多額の料金を請求される場合があります。
- プロバイダ側の状態(アクセスポイントの変更、メンテナンス、障害など)によって予想外の通信料金がかかる場合がありますので、プロバイダからの告知情報には常に注意してください。
- ここで使用している画面や設定項目は、各ソフトウェアのバージョンにより内容が異なります。

通信記録を確認する

「料金と通信の記録」画面で確認する

「かんたん設定ページ」の画面左側にある「料金と通信の記録」をクリックすると、各ポート毎の累積料金や累積接続時間、累積発信回数、累積着信回数、通信毎の履歴を確認できます。

通信種別	最後の通信料金	累積料金	累積接続時間	累積発信回数	累積着信回数
プロバイダ接続(設定管理)					
1(PP01) ISDP1 ISDN選択中	0円	0円	223:36:24	3回	0回
各アナログポートごとの料金情報					
アナログポート	0円	0円	00:00:00	0回	0回
USBポート	0円	0円	00:00:00	0回	0回
LAN版RVS-COM	0円	0円	00:00:00	0回	0回
LAN-TA機能	0円	0円	00:00:00	0回	0回
合計	0円	0円	223:36:24	3回	0回

着信転送履歴 [電話設定]
着信転送の履歴はありません

料金情報

プロバイダごとの累積料金や累積接続時間、累積発信回数、累積着信回数が表示されます。

通信履歴

発着信日付、発着信時刻、通信種別、通信時間、通信料金、切断コード、相手先の番号が新しい順に100件まで表示されます。通信種別がPPxxとなっている通信が、プロバイダ(またはLAN間接続相手)へ接続した通信です。

ご注意

- 通信料金はISDN回線で接続している場合にのみ表示されます。
- 通信料金はNTTから通知される料金を累積して表示しています。

NTTから通知される料金は少数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスやNTT以外の回線業者の料金が反映されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安と考えてください。

ログ情報で確認する

「かんたん設定ページ」の「システム管理」-「システムログ」画面では、自動接続のきっかけになったアクセスの情報をSyslog表示で確認できます。

意図しないアクセスが多いときは、Syslog表示の中で一番下から順に「IP Commencing」の行を探します。IP Commencing行のパソコンIPアドレスやアクセス先ホストのIPアドレス、アクセス時間(もしくは間隔)などを手がかりに、どのソフトウェア(または機器)がアクセス要求を出しているかを調べて、原因を探してください。

アクセス例1



PP[01] IP Commencing: UDP 192.168.0.1:53 > 10.40.3.22:53

(DNS Query [windowsmedia.com] from 192.168.0.2)

この例では、LAN内のパソコン(192.168.0.2)からDNSサーバへインターネットのホスト(windowsmedia.com)のIPアドレスを調べる問い合わせ要求をきっかけに、プロバイダへの自動接続を開始しています。

アクセス例2

PP[01] IP Commencing : TCP 192.168.0.2:1311 > 207.188.7.85:80

- PP[01]: プロバイダ番号
- 192.168.0.2: パソコンのIPアドレス
- 207.188.7.85: アクセス先のIPアドレス

この例では、LAN内のパソコン(192.168.0.2)からインターネットのホスト(207.188.7.85)へのアクセス要求をきっかけに、プロバイダへの自動接続を開始しています。

原因になりやすい設定を確認する

不審なインターネットアクセスの原因になる設定項目には、次のようなものがあります。OSを使い始めるときや、新しいソフトウェアをインストールしたときは、以下の例を参考にして設定をご確認ください。

頻繁に発信している場合は

パソコンのネットワーク設定のDNS設定値を確認してください。

インターネット上のDNSサーバのIPアドレスが指定されていると、頻繁にアクセスする場合があります。

パソコンを起動するたびに発信している場合は

Windowsでアクティブデスクトップを使用している場合、設定内容によって起動するたびにインターネットへ接続する場合があります。また、パソコン起動時と同時に起動するソフトウェアがある場合は、[スタート]ボタンの[スタートアップ]項目を確認してください。スタートアップに登録されているソフトウェアの設定を確認し、自動アップデートなどの機能が有る場合は、設定を変更してください。

コントロールパネルの[画面]設定

WindowsのデスクトップにWebページを設定していると、パソコンを起動するたびにインターネットへ接続してWebページの内容を更新するため、パソコンを起動することに電話料金と通信料金がかかります。必要がなければ、設定を解除してください。

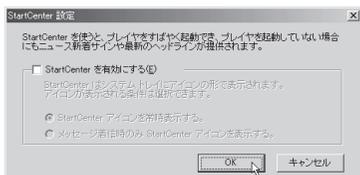
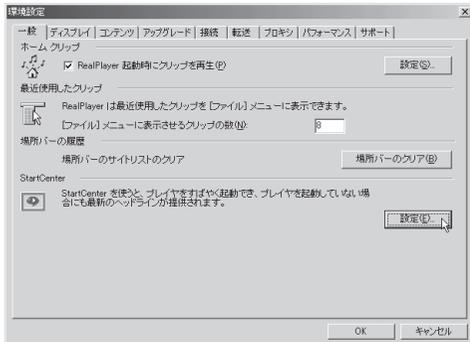


RealPlayerの環境設定

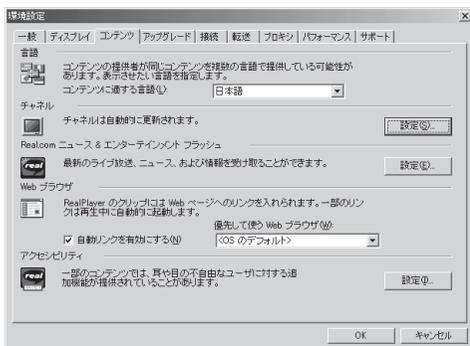
「環境設定」画面の「一般」タブにある「StartCenter」を有効にしていると、パソコンを起動するたびにインターネットへ接続して、「コンテンツ」タブで指定したチャンネルなどの最新情報が更新されます。

RealPlayerを起動しなくともこの動作は行われるため、パソコンを起動するごとに電話料金と通信料金がかかります。必要がなければ、設定を解除してください。

● [一般] タブ



● [コンテンツ] タブ



定期的に発信している場合は

- 1日に何回も発信している場合は: Internet Explorerのチャンネルを購読している場合やWindows Updateを利用している場合、電子メールの自動送受信が設定されている場合などが考えられます。本機のLANに接続しているパソコンの、該当するソフトウェア設定を確認してください。
- 1日に数回以内の場合は: ハードウェアのメンテナンスプログラムやNTPサーバ(インターネット自動時刻サーバ)の設定を確認してください。

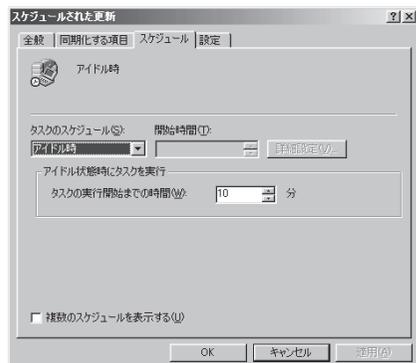
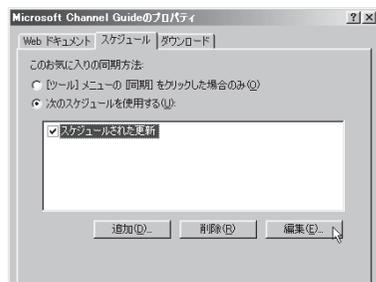
ホームページのバナー広告

バナー広告が掲載されているホームページでは、何も操作しなくても定期的に自動更新する場合があります。そのページを開いたままWebブラウザを放置すると、定期的にインターネットへアクセスし続け、そのたびに料金がかかります。見終わったらWebブラウザを閉じることで、不要なアクセスを防ぐことができます。

購読チャンネルのプロパティ

Internet Explorerのチャンネルを購読している場合は、プロパティで指定した間隔で、チャンネル内容の更新のためインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。購読する場合は更新間隔をよく確認してお使いください。

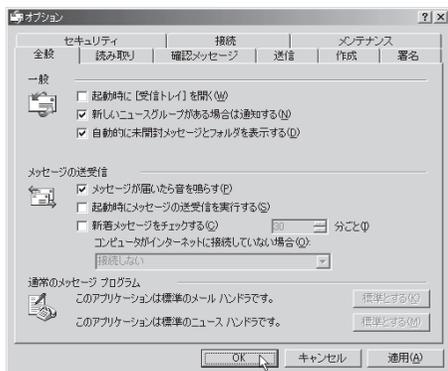
不要な場合は、設定を解除してください。



Outlook Expressの【オプション】設定

Outlook Expressなどの電子メールソフトウェアには、新着メールを定期的に確認する機能があります。この機能を利用している場合は、定期的にインターネット上のメールサーバにアクセスするため、そのたびに料金がかかります。この機能を利用する場合は、確認する頻度を十分考慮してください。

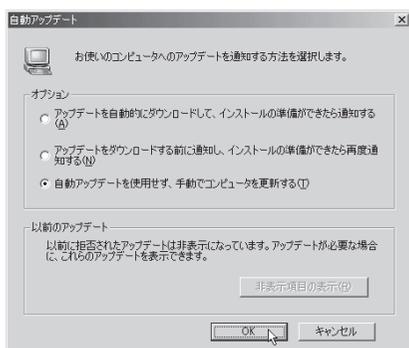
必要なければ設定を解除して、手動でメールを確認するようにしてください。



OSの自動アップデート機能

Windows MeやMacOS 9以上の場合、OSの自動アップデート機能があります。この機能を利用している場合は、定期的にインターネットのサーバにアクセスし、そのたびに料金がかかります。

不要であれば、[コントロールパネル]の[自動アップデート] (MacOS 9は[ソフトウェア・アップデート])を開き、設定を手動更新に変更してください。

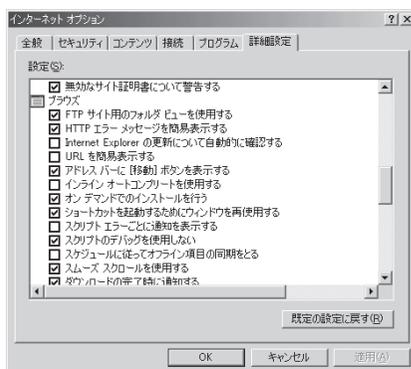


ソフトウェアを起動するたびに発信している場合は

インストールしたソフトウェアの環境設定(初期設定)を確認して、自動アップデートなどの機能が有る場合は、設定を変更してください。

Internet Explorerの【インターネットオプション】設定

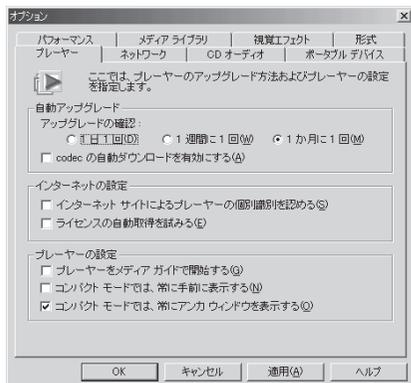
Internet Explorerの自動アップデート機能を利用している場合は、Internet Explorerを起動するたびにインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。不要であれば設定を解除してください。



Windows MediaPlayerの環境設定

Windows MediaPlayerをインストールすると、MediaPlayerを開くたびにガイドページの情報を得るためにインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。

必要であれば、「オプション」画面の[プレーヤー]タブの[プレーヤーをメディアガイドで開始する]のチェックを外すと、アクセスを防げます。



また、[プレーヤー]タブの[自動アップグレード]で[1か月に1回]を選ぶと、アクセス回数を減らすことができます(完全に解除することはできません)。

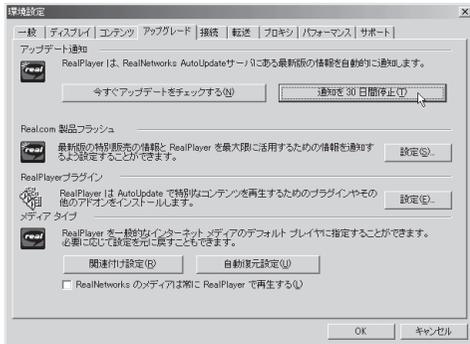
05

05 通信料金に異常がある

RealPlayerの環境設定

RealPlayerをインストールすると、アップグレード情報を得るためにRealPlayerを開くたびにインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。

必要であれば、[アップグレード]タブの[通知を30日間停止]をクリックすると、30日間はアクセスしなくなります。アクセスしない日数がカウントダウンされますので、ときどきチェックして[通知を30日間停止]をクリックしてください(完全に解除することはできません)。

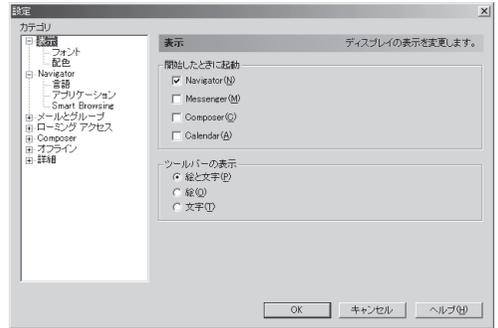


また、Real.com製品情報がチェックされていると、製品情報を得るためにRealPlayerを開くたびにインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。必要であれば設定を解除してください。

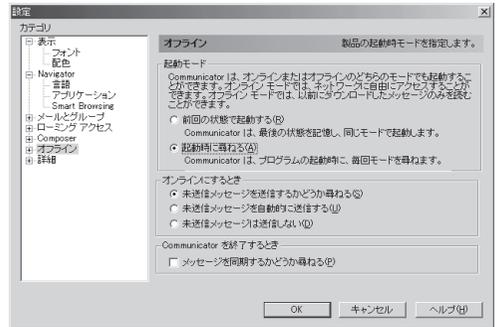
Netscape Communicatorの設定

Netscape Messengerの画面を開くときにNetscapeの広告ページを表示しようとしてインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。

Netscape Messenger以外の電子メールソフトウェアを使用する場合は、[開始したときに起動]の設定で、Messengerのチェックをはずしてください。



Netscape Messengerを使っている場合や、意図しない接続を止めたい場合は、[オフライン]の[起動モード]を[起動時に尋ねる]に設定し、オフラインで起動してください(自動的にオフラインで起動する設定はありません)。



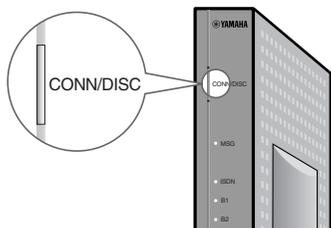
Q5 パスワードを忘れてしまった

ログインパスワードを忘れた場合は

管理パスワードでログインしてください。管理パスワードをLANの管理者が管理しているときは、LANの管理者にログインパスワードを再発行してもらいます。

管理パスワードを忘れた場合は

- 1 CONN/DISCボタンを押しながら、本機の電源を入れる。



- 2 パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの[開く]を選ぶ。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

- 3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。



手順1の操作を行ってから10分以内であれば、はじめにパスワードを決めたときと同様に、好みのパスワードを入力して、パスワードを変更できます。

💡 ヒント

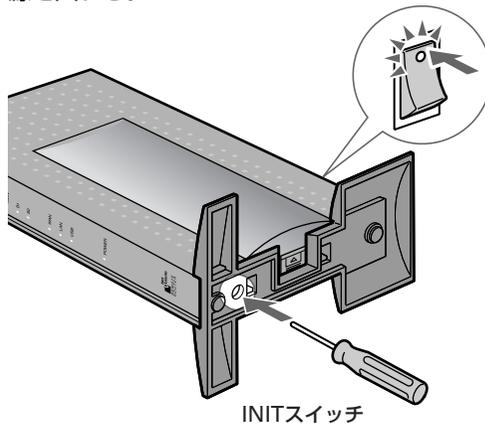
USBポート経由で接続したパソコンでターミナルソフトウェアを起動して、パスワード「w,lXlma」(ダブリュ、カンマ、エル、エックス、エル、エム、イー)を使ってログインすることもできます。

コンソールコマンドについては、「活用マニュアル」(別冊)の「コンソールコマンドで設定する」(31ページ)をご覧ください。

Q5 本機の設定を工場出荷状態に戻す

本機の設定内容を工場出荷設定に戻したいときは、次の操作を行ってください。

- 1 本機の電源を切る。
- 2 INITスイッチを先の細いもので押しながら、電源を入れる。



現在設定されている内容が、出荷時の設定内容にもどります。

それまでに設定した内容はすべて初期化されますので、最初から設定をやり直してください。

Q5 本機の最新機能を利用する (リビジョンアップ)

NetVolanteシリーズのホームページから、本機の機能を管理するプログラム(ファームウェア)をダウンロードして本機に転送することで、本機の最新の機能をご利用いただけます(リビジョンアップ)。

リビジョンアップは次の手順で行います。ここでは、WindowsXPを例に説明しています。

ご注意

- リビジョンアップを始めたら、完了して本機が再起動するまで絶対に何も操作をしないでください。万一、中断したときは本機が使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。
- RT-RevUpper(リビジョンアップ・プログラム)をダウンロードするためには、インターネットへの接続が必要です。それに伴った電話料金とプロバイダ接続料金がかかります。
- リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。
- 工場出荷時に搭載されているファームウェアのリビジョンより古いリビジョンのファームウェアは使用しないでください。

1 パソコンでWebブラウザでネットボランチのホームページ(<http://www.NetVolante.jp>)を表示してから、リビジョンアップ情報のページを表示する。

2 リビジョンアップの内容をよく読み、お使いのOS用のRT-RevUpper(リビジョンアップ・プログラム)をパソコンにダウンロードする。

WindowsおよびMacintosh以外のOSや、RT-RevUpperが正しく動作しない場合は

tftp用バイナリファイルをダウンロードし、「かんたん設定ページ」の「システム管理」-「コマンド設定」画面のコマンド入力欄に「tftp host any」と入力してから、[OK]をクリックしてください。そのあとにtftpソフトウェアを使って、tftp用のバイナリファイルを転送してください。

3 ダウンロードしたRT-RevUpper(リビジョンアップ・プログラム)のアイコンをダブルクリックする。



ご注意

RT-RevUpperを開く前に、RTAssistやTELNETなどのルータにアクセスしているプログラムを終了してください。

4 リビジョンアップするルータのIPアドレスを確認してから、[開始]をクリックする。

複数のRTA55iを使用している場合は、リビジョンアップするルータのIPアドレスを選んでください。



指定したIPアドレスを検索し、リビジョンアップ可能なルータの場合は、パスワード入力画面が表示されます。

ご注意

必ずRTA55iのIPアドレスを選んでください。誤って他機種のIPアドレスを選ぶと、そのルータが使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。

5 ルータのパスワードを入力してから、**[実行]**をクリックする。



リビジョンアップが始まります。

リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

リビジョンアップ中は、絶対にケーブルを抜いたり、本機やパソコンの電源を抜いたりしないでください。ルータが使えなくなり、持ち込み修理が必要となる場合があります。

6 本機が再起動したら、**[終了]**をクリックする。

7 パソコンでWebブラウザを起動して、本機の「かんたん設定ページ」にアクセスしてリビジョンを確認する。

リビジョン番号は、「かんたん設定ページ」のタイトルバーやトップ画面、「システム管理」の[コマンド設定]画面、またはRTAssistの[ルータ情報]で確認できます。

本機に関する最新情報は、インターネットのホームページで入手できます。設定に関する初歩的な情報からルータの専門的な情報まで、それぞれの目的別に用意していますので、十分にご活用ください。

NetVolanteシリーズのホームページ

本機やNetVolanteシリーズに関する最新情報をご覧いただけます。

<http://NetVolante.jp/>

NetVolanteシリーズでお問い合わせの多い質問 (FAQ)

本機やNetVolanteシリーズに関するQ&Aをご覧いただけます。ネットボランチのホームページ (<http://NetVolante.jp/>) から、必要な情報を入手してください。

NetVolanteシリーズのリビジョンアップ情報

本機やNetVolanteシリーズの最新ファームウェアに関する情報をご覧いただけます。ネットボランチのホームページ (<http://NetVolante.jp/>) を表示してから、リビジョンアップ情報のページを表示してください。

RTシリーズのホームページ

RTシリーズのルータに関する最新情報やルータの技術情報、高度な利用方法などをご覧いただけます。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

Q5 サポート窓口のご案内

お問い合わせの前に

本書をもう1度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できないかどうかご確認ください。本機に付属の設定マニュアルや活用マニュアルも、あわせてご覧ください。

ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様のルータの状態を把握するために、弊社の担当者がログ(syslog)情報や設定(config)情報を確認させていただくことがあります。特に電子メールでお問い合わせの際は、ログ情報や設定情報を問題の症状とあわせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まる場合があります。

ログ情報や設定情報は、以下の方法でご確認ください。

- 1 パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの[開く]を選ぶ。**
「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 「<http://setup.netvolante.jp/>」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。**
本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。
「ネットワーク パスワードの入力」画面が表示されます。
- 3 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。**
「トップ」画面が表示されます。
- 4 画面左側の[システム管理]をクリックする。**
- 5 ログ情報を表示する場合は[システムログ]、設定情報を表示する場合は[コマンド設定]をクリックする。**
本機のログ(syslog)情報、または設定(config)情報が表示されます。

お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

ネットボランチコールセンター

RTA55i専用サービス窓口

TEL:03-5715-0350

ADSLルータ専用お客様窓口

TEL:03-5715-3575

(土日祝日を除く9時～12時、13時～17時)

電子メールでのお問い合わせは

- Webお問い合わせページ:
<http://NetVolante.jp/>
- メールアドレス:
support@netvolante.jp

Q5 本機の保証サービスについて

本機や本機の付属品に不良があった場合は、すぐにご購入の販売店へご連絡ください。また、通常のご使用で故障が発生した場合は、保証期間中は無償にて修理いたします。ご購入の販売店またはヤマハサービス窓口へご連絡ください。また保証期間後は、有料にて修理いたします。

なお、保証期間中の修理には、保証書が必要です。ご購入時に「お買い上げ年月日」と「販売店名」の記入をご確認の上、保証書をお受け取りください。保証書がない場合は、保証期間内であっても有料となります。

保証期間:ご購入から1年間

切断コード一覧

0 通信中または正常切断

1 欠番

存在しない番号に発信した。相手先番号に間違いがある。

2 指定中継網へのルートなし

相手先番号への中継網が存在しないかサービスを提供していない。相手先番号に間違いがある。

3 相手へのルートなし

網が相手先番号へ着信を受け付けない。相手先番号に間違いがある。

6 チャンネル利用不可

選択したBチャンネルが使用できない。すでに2つのBチャンネルが使用されている可能性がある。

16 正常切断

17 着ユーザビジー

発信した相手がすでに他の端末と通信中で通信できない。相手が話中。

18 着ユーザレスポンスなし

発信したが規定時間内に何の反応も返ってこなかった。相手の電源が切れているか、相手先番号が間違っている可能性がある。

19 着ユーザ呼出中／応答なし

発信した相手から呼出(ALERT)による反応があったが、その後規定時間内に応答の反応がなかった。相手先番号が間違っている可能性がある。

20 加入者不在

移動局と無線交信行なえない。相手の携帯電話などの電源が入っていないか圏外にいる。

21 通信拒否

何らかの理由で相手端末が着信を拒否した。ISDN関係のパラメータの不整合がある。相手先番号が間違っている可能性がある。また、相手側が着信可能な設定になっているか確認する。

22 相手加入者番号変更

相手の番号が変更されている。相手先番号に間違いがある。

26 選択されなかったユーザの切断復旧

着信に対して応答したが、他の端末の方が早く応答しており、自端末の応答は選択されなかった。

27 相手端末故障中

相手端末の電源OFFや故障、回線抜けなどにより相手インタフェースの起動不可。通信中に電源をいきなり落した時など。

28 無効番号フォーマット(不完全番号)

相手先番号に間違いがある。

30 状態問合せへの応答

網からの状態問合せに対する応答を示す。

31 その他の正常クラス

34 利用可回線／チャンネルなし

利用可能な回線／Bチャンネルがない。すでに2つのBチャンネルが使用されている可能性がある。

38 網故障

網に比較的長時間続きそうな障害が発生した。しばらく使用を見合わせる必要がある。

41 一時的失敗

網に比較的長時間続きそうもない障害が発生した。再発信で接続できる可能性がある。

42 交換機輻輳

網に障害(交換機が高トラフィックで輻輳)が発生した。しばらく使用を見合わせる必要がある。

43 アクセス情報廃棄

網が要求されたアクセス情報を相手に届けることができなかった。しばらく使用を見合わせる必要がある。

44 要求回線／チャンネル利用不可

要求した回線／Bチャンネルが相手側のインタフェースで提供できない。すでに2つのBチャンネルが使用されている可能性がある。

47 その他のリソース使用不可クラス

49 QOS(サービス品質)利用不可

要求されたQOS(Quality Of Service)が提供されない。(RT/RTAでは通常表示されない)

50 要求ファンリテリ未契約

要求された付加サービスが提供されない。付加サービスに契約せずに、端末に付加サービスの設定がされている可能性がある。

57 伝達能力不許可

許可していない伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

58 現在利用不可伝達能力

利用不可である伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

63 その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

65 未提供伝達能力指定

サポートしていない伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

66 未提供チャンネル種別指定

サポートしていないチャンネル種別が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

69 未提供ファシリティ要求

提供していない付加サービスが要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

70 制限デジタル情報伝達能力のみ可能

非制限デジタルを要求されたが、制限デジタルのみサポートしている(RT/RTAでは通常表示されない)

79 その他のサービスまたはオプションの未提供クラス

81 無効呼番号使用

使用中のものとは異なる呼番号のメッセージを受信した。(RT/RTAでは通常表示されない)

82 無効チャンネル番号使用

使用できないチャンネル番号を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

83 指定された中断呼識別番号未使用

中断された呼と異なる呼番号で再開しようとした。(RT/RTAでは通常表示されない)

84 中断呼識別番号使用中

再開の可能性がある呼に対して中断を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

85 中断呼なし

再開の可能性がある呼以外の呼に対して再開を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

86 指定中断呼切断復旧済

すでに切断した呼に対して再開を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

88 端末属性不一致

端末属性が一致しない端末に発信した。またはそのような端末からの着信を受け取った。

相手先番号が間違っている可能性がある。例えば、自側が同期PPPで相手側がアナログモデムの場合のように、双方での端末属性の設定に不一致がある。

91 無効中継網選択

誤ったフォーマットの中継網識別を受信した相手先番号が間違っている可能性がある。

95 その他の無効メッセージクラス

96 必須情報要素不足

必要な情報要素が不足していた。不正な相手からの着信を受け取った。(RT/RTAでは通常表示されない)

97 メッセージ種別未定義または未提供

認識できないメッセージを受信した。不正な相手からの着信を受け取った。(RT/RTAでは通常表示されない)

98 呼状態とメッセージ不一致又は、メッセージ種別未定義又は未提供

網との間で状態の不一致が発生した。ルータを再起動する必要がある。

99 情報要素未定義

未定義の情報要素を受信した。(RT/RTAでは通常表示されない)

100 情報要素内容無効

情報要素の内容に誤りがある。(RT/RTAでは通常表示されない)

101 呼状態とメッセージ不一致

網との間で状態の不一致が発生した。ルータを再起動する必要がある。

102 タイマ満了による回復

レイヤ3でのタイムアウトが発生した。

111 その他の手順誤りクラス

127 その他のインタワーキングクラス

112 L2リンクの設定に失敗した

モジュラーケーブルの接続などを確認する必要がある。

545 相手が呼出中のまま応答せずにタイムアウトした

相手先番号が間違っている可能性がある。

548 コールバック手順に成功して相手からコールバックされるのを待っていたがタイムアウトした

相手先番号が間違っている可能性がある。

549 コールバック手順の中でタイムアウトした

相手先番号が間違っている可能性がある。

552 切断タイマ (isdn disconnect time) による切断

正常切断。

553 出力切断タイマ (isdn disconnect output time) による切断

正常切断。

554 入力切断タイマ (isdn disconnect input time) による切断

正常切断。

556 Fast Data 切断タイマ (isdn fast disconnect time) による切断

正常切断。

557 強制切断タイマ (isdn forced disconnect time) による切断

正常切断。

769 コールバックの応答がなかった

コールバック手順での問題。相手先番号が間違っている可能性がある。

770 コールバックの応答に失敗した

コールバック手順での問題。相手先番号が間違っている可能性がある。

772 回線コネクタ抜けにより発信失敗

774 再発信禁止条件により発信失敗

しばらくしてから再発信すれば接続できる。

780 累積課金による発信制限により発信失敗

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積課金情報をクリアする。

781 累積接続時間による発信制限により発信失敗

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積接続時間情報をクリアする。

782 累積発信回数による発信制限により発信失敗

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積発信回数情報をクリアする。

783 AC電源断により発信失敗

バックアップ電池による動作中のため、発信できなかった。

848 PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された

要求したサービスがサーバにより拒否された。(RT/RTAでは表示されない)

849 PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された

サーバが高トラフィックで輻輳している可能性がある。

850 PPPoE接続で回復不能なエラーが発生した

ログに表示された理由のエラーが発生した。

851 PPPoE接続でPADIタイムアウト

接続先にサーバが存在しない。または、サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

852 PPPoE接続でPADRタイムアウト

サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

1025 PIAFS接続でネゴシエーション失敗

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1026 PIAFS接続でRTFが範囲を超えている

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

1027 PIAFS接続でT001タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1028 PIAFS接続でT002タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1029 PIAFS接続でT003タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1030 PIAFS接続でT101タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

1031 PIAFS接続でリンク解放受付K回送出済

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

1281 PPP手順においてLCPタイムアウト

設定誤りの可能性がある。

1282 PPP手順においてIPCPタイムアウト

設定誤りの可能性がある。

1296 コールバックによる接続が拒否された

設定誤りの可能性がある。

1297 相手による認証が拒否された

設定誤りの可能性がある。

1298 自分が認証を拒否した

設定誤りの可能性がある。

1299 相手の認証に失敗した

設定誤りの可能性がある。

1300 相手に認証させるのに失敗した

設定誤りの可能性がある。

1301 相手に認証させるのに失敗した回数が多すぎるため発信できない

設定誤りの可能性がある。

1302 相手の認証でタイムアウトした

設定誤りの可能性がある。

1303 相手に認証させるのにタイムアウトした

設定誤りの可能性がある。

1304 MPに失敗した回数が多すぎるため発信できない

設定誤りの可能性がある。

1305 LCPキープアライブによる発信に失敗した

PPPoEサーバがダウンしているか、PPPoEサーバまでの回線のどこかに問題がある可能性がある。

ヤマハ株式会社

● ネットボランテコールセンター

RTA55i専用サービス窓口

TEL-03-5715-0350

ADSLルータ専用お客様窓口

TEL-03-5715-3575

土日祝日を除く9時～12時、13時～17時

● 電子メールでのお問い合わせ

Webお問い合わせページ <http://NetVolante.jp/>

メールアドレス support@netvolante.jp

V927530



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙 (ECF: 無塩素紙漂白パルプ) を使用しています。